**世界トップレベル研究拠点プログラム**

**拠点構想**

**拠点構想**（英語で記載）

**拠点名：** （15 words以内で記載）

**ホスト機関：**

**全体責任者**（ホスト機関の長）**：**（氏名、役職を記載）

**拠点長候補者：** 　（氏名、所属、役職を記載）

* 添付資料１　拠点長候補者については「拠点長候補者個人票」に従って記載し添付。
* 添付資料２　拠点が対象とする研究分野で世界的な業績のある研究者の推薦状を添付することが望ましい。

**事務部門長候補者：** 　（氏名、所属、役職を記載）

* 添付資料３　事務部門長候補者については「事務部門長候補者個人票」に従って記載し添付。

**１）形成拠点の全体像**

* WPI拠点としてのミッションステートメント及び拠点のアイデンティティーを、明確かつ簡潔に記載。

**２）研究内容**

**２）-1. 研究領域**

* 研究領域の名称
* 研究対象として取り組む重要性（当該分野における国内外の動向、科学的及び社会的意義）について記載。
* WPI拠点として取り組むに価する理由について記載。（我が国の優位性、世界的な科学的・社会的課題としての魅力、当該学問分野の将来性）
* 類似の分野を対象とする国内外の既存拠点があれば列挙すること。（5機関まで）
* 添付資料８　拠点構想に関連が深い英文の論文（レビュー論文も可）10件以内を別添として記載するとともに、それらのPDF化したファイルを添付すること。

**２）-2. 研究達成目標**

* 実施期間終了時（10年後）の研究達成目標を一般国民にも分かり易い形で明確に記載。さらに、どのような科学技術上の世界的な課題の解決に挑戦するのか、またその実現により、将来、どのような社会的インパクトが期待できるのか、をできるだけ分かり易く記載。
* 上記目標を達成するための研究活動面の具体的計画、及び、関連するこれまでの実績を記載。

**２）-3. 研究体制**

* 研究組織、支援組織、事務組織等の研究体制を、構築の考え方及び人員構成を含め記載。
* 組織構築の最終目標を達成するための具体的計画（時期・手順など）を併せて記載。
* サテライト的な組織を設置して国内外の他の機関との連携を行う場合は、当該連携先機関の名称、サテライトの拠点構想における役割、サテライトの人員構成・体制、ホスト機関と当該連携先機関の間の協力の枠組み（協定等の締結、資金のやりとりの考え方等）等について記載。
* サテライト的な組織を設置しないものの、国内外の他の機関との連携を行う場合は、当該機関の名称、拠点構想における役割、連携の概要等について記載。
* 添付資料４　主任研究者リストを添付。（一次審査から変更があった場合は、変更理由とともに変更点を明記すること）
* 添付資料５　主任研究者については、「主任研究員個人票」を添付。
* 添付資料６　拠点を構成する人員についてExcel の書式を用いて作成すること。
* 添付資料７　海外、国内他機関から招へいする研究者については、拠点構想への参加の意思を示した書簡を添付（様式自由）。

ａ）主任研究者（教授、准教授相当）

* 添付資料６の表a)を貼り込むこと。

ｂ）全体構成

* 添付資料６の表b)を貼り込むこと。

**２）-4. 研究資金等の確保**

過去の実績

* 拠点構想に参加する主任研究者が過去に獲得した競争的資金等の研究費の年度別合計（平成２４年度〜２８年度）。

拠点設立後の見通し

* 上記実績を踏まえつつ、本プログラムからの支援額と同等程度以上のリソースを、どのようにして確保するのか、具体的な見通しについて記載。
* その際、競争的資金等の研究費については、「本件拠点における研究活動の割合」（主任研究者個人票におけるエフォート（%））を勘案して算入。また、研究費の獲得の見通しについては、上記実績を踏まえた現実的なものとする（平成29年度～平成33年度）。

**３）融合研究**

* 研究対象における異分野融合の必要性と重要性について、さらにこの異分野の融合等によりどのような領域の開拓が期待されるのかについても記載。また融合研究を推進する戦略についても具体的に記載。

**４）国際的研究環境**

**４）-1. 国際的研究推進体制(拠点を構成する研究者等)**

* 拠点における外国人研究者の構成、海外サテライトの設置、研究者交流等、国際的研究拠点の構築に向けた具体的計画（時期的なものを含む）を記載。
* 研究者（ポスドク等）を国際公募により採用するためどのような措置をとるのか、手順も含め具体的に記載。

**４）-2. 国際標準の研究環境**

* 国際的な研究環境および事務体制の整備、海外からの研究者支援の方策を具体的に記載。
* 世界トップレベルの研究者を集めた国際的な研究集会を定期的（少なくとも年1回）に開催するため、どのような措置をとるのか、時期・手順も含めて具体的に記載。
* 上記のほかに、世界から集まるトップレベルの研究者が、国際的かつ競争的な環境の下で快適に研究に専念できるようにするための取組があれば記載。

**５）拠点運営**

**５）-1. 運営**

* 拠点長の役割について記載。
* 事務部門長の役割について記載。
* 事務部門の構成の考え方等について具体的に記載。
* 拠点内の意思決定システムについて具体的に記載。
* 拠点長とホスト機関側の権限の分担について具体的に記載。
* 研究成果に関する厳格な評価システムと能力に応じた俸給システム(例えば年俸制等)を導入するため、どのような措置をとるのか、時期・手順も含め具体的に記載。

**５）-2. 環境整備**

* 「世界トップレベル拠点」としてふさわしい研究室、居室等の施設・設備環境を整備するため、どのような措置をとるのか、時期・手順も含めて具体的に記載。
* 研究者から教育研究以外の職務を減免するとともに、研究者が快適に研究できるような環境を提供するため、どのような措置をとるのか（例：種々の手続き等管理事務をサポートするスタッフ機能を充実させる)、時期・手順も含めて具体的に記載。
* 研究者の大学院教育への参画について、どのような措置をとるのか具体的に記載。

**５) -３．既存組織の再編と一体的な拠点構築**

* 拠点構想において、拠点形成のうち既存組織の再編と一体的に行われる部分について、具体的に記載。
* 補助金支援期間終了後の当該拠点の自立と中長期的な既存組織の再編の進展を実現する方策について記載。